

# 精神医学系〈D14〉

## オーガナイザー

神経精神科 鵜飼 聡

### I 一般学習目標

生物・心理社会・倫理的医療モデルによって全人的医療を実践している精神医学のあり方を学習するとともに、精神と行動の障害に関する病態生理・診断・治療を理解し、患者と医師の良好な信頼関係をもとに患者の問題解決に医師が援助できることは何かを学ぶ。

### II 個別学習目標

1. 精神科面接の基本を説明できる。
2. 操作的診断基準に基づく精神科診断分類法について説明できる。
3. 法と倫理の立場から精神医療を述べることができる。
4. 包括医療の概念について精神医学的な立場から述べるができる。
5. 精神疾患の鑑別診断における心理検査・画像診断の意義を説明できる。
6. 症状精神病の概念と診断を述べるができる。
7. 老年期において出現する精神疾患を列挙し、その特徴を説明できる。
8. 認知症症状を来たす疾患を列挙し、その診断と治療を説明できる。
9. 薬物依存を来たす薬物を挙げ、それぞれの症状について説明できる。
10. アルコール依存症について説明し、その関連障害および合併症を列挙できる。
11. 統合失調症の病型を列挙し、急性期の症状と治療を説明できる。
12. 統合失調症の慢性期の特徴と治療を説明できる。
13. うつ病の特徴的な症候と診断が説明できる。
14. 躁うつ病（双極性障害）の症候と診断が説明できる。
15. 主要な不安障害とストレス関連障害を列挙し、その診断と治療を説明できる。
16. 心身症の概念と摂食障害の症候と治療を説明できる。
17. 精神療法を中心とした精神疾患の治療の要点と適応を述べるができる。
18. 精神疾患の薬物療法・身体療法の要点と適応について述べるができる。
19. 解離性（転換性）障害、身体表現性障害、人格障害の症候と診断を説明できる。
20. 小児期、思春期における精神障害を列挙し説明できる。
21. 精神遅滞と広汎性発達障害の相違について説明できる。
22. 睡眠障害を来たす主要疾患を列挙し、診断と治療を述べるができる。
23. 医学の一分野としての精神医学の歴史と現状について述べるができる。
24. 精神医学を比較文化的な観点から述べるができる。

### III 講義項目と担当者

#### (1) 精神医学総論・各論

- |                              |    |
|------------------------------|----|
| 1. 患者－医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本 | 鵜飼 |
| 2. 精神科診断分類法                  | 鵜飼 |
| 3. 精神医療の法と倫理                 | 山田 |
| 4. コンサルテーション・リエゾン精神医学        | 辻  |
| 5. 心理検査・画像診断                 | 鵜飼 |
| 6. 症状精神病の概念と診断               | 郭  |
| 7. 老年期の心性と精神疾患（老年期の精神医学）     | 山田 |
| 8. 認知症性疾患の診断と治療              | 山田 |
| 9. 薬物乱用・依存・離脱の病態と症候          | 辻  |
| 10. アルコール依存症の病態、診断と合併症       | 辻  |
| 11. 統合失調症の急性期の診断と治療          | 鵜飼 |

12. 統合失調症の慢性期の治療	鵜飼
13. うつ病の症候と診断	鵜飼
14. 躁うつ病（双極性障害）の症候と診断	鵜飼
15. 不安障害・ストレス関連障害	辻
16. 心身症・摂食障害	辻
17. 主な精神疾患・障害の治療（精神療法等を中心に）	山本
18. 主な精神疾患・障害の治療（薬物療法等を中心に）	山本
19. 解離性障害・身体表現性障害・人格障害	辻
20. 多動性障害と行為障害（小児・思春期の精神障害）	小瀬
21. 精神遅滞と広汎性発達障害	小瀬
22. 睡眠障害の診断と治療	郭
23. 精神医学の歴史と現在	志波
24. 比較文化精神医学	宮西
25. 精神科 TBL	辻

#### IV 推薦テキスト及び参考書

##### (1) テキスト

- |                 |      |                    |      |
|-----------------|------|--------------------|------|
| 1. 標準精神医学       | 第6版  | （野村総一郎、樋口輝彦 監修）    | 医学書院 |
| 2. T E X T 精神医学 | 第4版  | （加藤進昌、神庭重信、笠井清登 編） | 南山堂  |
| 3. 現代臨床精神医学     | 第12版 | （大熊輝雄 原著）          | 金原出版 |

##### (2) 参考書

- |                          |                            |      |
|--------------------------|----------------------------|------|
| 1. DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル | （高橋三郎、大野裕 監訳）              | 医学書院 |
| 2. カプラン臨床精神医学テキスト        | 日本語版第3版（井上令一 監修）           | 医学書院 |
|                          | メディカル・サイエンス・インターナショナル      |      |
| 3. POCKET 精神科            | 改訂2版（武田雅俊、鹿島晴雄 編）          | 金芳堂  |
| 4. 専門医をめざす人の精神医学         | 第3版（山内俊雄、小島卓也、倉知正佳、鹿島晴雄 編） | 医学書院 |

#### V 評価の方法

定期試験の成績を全学的な基準により評価し、合格の目安とする。

なお、出席が2/3に満たない場合は、不合格とする。

# 講義日程表

精神医学

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	H30.4.6	(金)	4	患者医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の	神経精神科	鵜飼
2	H30.4.13	(金)	4	精神科診断分類法	神経精神科	鵜飼
3	H30.4.13	(金)	5	心理検査・画像検査	神経精神科	鵜飼
4	H30.4.18	(水)	4	不安障害・ストレス関連障害	神経精神科	辻
5	H30.4.18	(水)	5	解離性障害・身体表現性障害・人格障害	神経精神科	辻
6	H30.4.20	(金)	4	統合失調症の急性期の診断と治療	神経精神科	鵜飼
7	H30.4.20	(金)	5	統合失調症の慢性期の治療	神経精神科	鵜飼
8	H30.4.25	(水)	4	主な精神疾患・障害の治療(薬物療法を中心に)	神経精神科	山本
9	H30.4.25	(水)	5	主な精神疾患・障害の治療(精神療法を中心に)	神経精神科	山本
10	H30.5.11	(金)	4	うつ病の症候と診断	神経精神科	鵜飼
11	H30.5.11	(金)	5	躁うつ病(双極性障害)の症候と診断	神経精神科	鵜飼
12	H30.5.16	(水)	4	心身症・摂食障害	神経精神科	辻
13	H30.5.16	(水)	5	コンサルテーション・リエゾン精神医学	神経精神科	辻
14	H30.5.18	(金)	4	注意欠如・多動性障害	神経精神科	小瀬
15	H30.5.18	(金)	5	自閉症スペクトラム障害	神経精神科	小瀬
16	H30.5.25	(金)	4	比較文化精神医学	神経精神科	宮西
17	H30.5.25	(金)	5	精神医学の歴史と現在	神経精神科	志波
18	H30.6.1	(金)	4	老人の心性と精神疾患(老年期の精神医学)	神経精神科	山田
19	H30.6.1	(金)	5	認知症性疾患の診断と治療	神経精神科	山田
20	H30.6.4	(月)	5	薬物乱用・依存・離脱の病態と症候	神経精神科	辻
21	H30.6.8	(金)	4	精神医療の法と倫理	神経精神科	山田
22	H30.6.8	(金)	5	アルコール依存症の病態、診断と合併症	神経精神科	辻
23	H30.6.11	(月)	4	症状精神病の概念と診断	神経精神科	郭
24	H30.6.11	(月)	5	睡眠障害の診断と治療	神経精神科	郭
25	H30.6.18	(月)	4	精神医学系TBL1	神経精神科	辻
26	H30.6.18	(月)	5	精神医学系TBL2	神経精神科	辻